

中学校で生まれ変わろうとしている君へ

校長 武井 正明

いよいよ来週から4月。そして新年度が始まる。

よく私は「人生には季節がある」と口にする。そう、今までの人生で思い出したくもない時期が、私には、ある。弱い人間はとにかく、うまくいかない原因を周囲のせいにする。

しかし、敢えて言おう。

自分の弱さの根本的な原因は、自分の中以外にない。

それは本当の強さ、誰が何と言おうと揺るがない自分自身の信念がないからだ。

それは未熟な子どもにはないのか。

そんなことはない。しっかりと親から教育されている子どもは、何をしてはいけなくて、何が大事なのかを3歳までのうちに教えてもらってくる。

それを教えてもらってこなかった子どもは、そのまま大人になる。そういう大人は「ほんとうに大事なことをわからずに親になる。これは悲劇だ。つまり、元を辿れば親に責任がある。

だから、本当の強さは、大人とか子どもとか、年齢などは全く関係ないことなのだ。

私が今、中学校の校長を務めさせていただいているのは、神様から与えられた使命だと勝手に考えている。

自分のような子ども時代を送らせないために。自分のような悲しい高校時代を送らせないために、今の自分があると信じている。

小学校時代、何をやってもうまくいかなかった人がいるだろう。良くなりたくても行動は全く違うことをやっちゃってしまっていた人もいるだろう。きっと君の小学校時代は「人生の冬」だったのだろうね。

そういう人に訊きたい。お前、今のままで本当にいいのか？

中学時代は、心も体も急速に成長する。伸びていくやつに簡単に追い抜かれるよ。

小学校時代とは、違うのだ。

生まれ変わるチャンスは、ここだぞ。思いっきり、背伸びして大谷翔平みたいな人間をめざしてみろ!! 君たちはこれから「人生の春や夏」を迎えていくべき人たちなんだ。

そうすると「お前、小学校の時は悪かったじゃねえか」って言うやつがいる、と君は言うかもしれない。

そしたら迷わず校長に教えてくれ。

生まれ変わろうとする人間の足を引っ張るやつは、俺が絶対に許さないから。